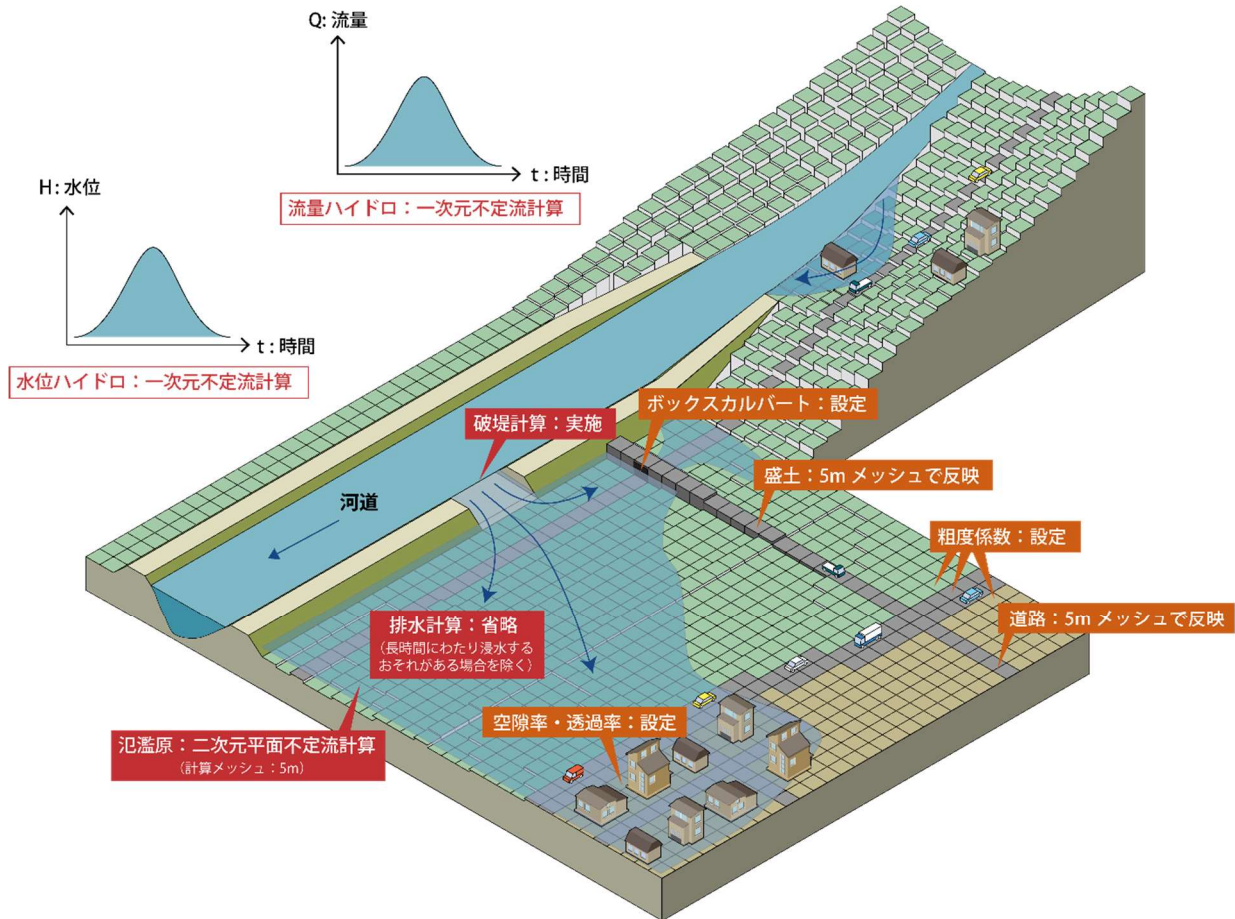


岩手県モデルの概要

岩手県モデルは、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」を基に、岩手県河川の実態に合うよう、河道計算手法やメッシュサイズを変更した氾濫解析モデルです。

これにより、山地や都市、田園等で流れる様々な中小河川を一つのモデルで解析が可能となり、計算メッシュを小さくすることで、道路盛土や水田の畦畔のような微地形も表現可能となります。

また、作業効率化の効果もあり、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」よりも少ない労力で、同程度の精度で解析が可能です。



岩手県モデルの概念図

(特徴)

- ✓ 国土地理院の数値標高データや国土交通省・県の航空レーザ測量データ等を用いて、5mメッシュで地盤高を表現
- ✓ 航空レーザ測量や横断測線等のデータを用いて、河道を作成
- ✓ 一次元不定流で河道を計算することで急流河川や平地河川の区別なく計算可能
- ✓ 解析モデルは地下浸透を考慮せず、河道一次元平面二次元不定流計算を実施
- ✓ 建物による氾濫水への影響を考慮
- ✓ 浸水継続時間が長時間にわたる場合を除き、排水計算を省略

(参考文献等)

- ✓ 洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版） 平成27年7月 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室、国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室
- ✓ 小規模河川の氾濫推定図作成の手引き 令和2年6月 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室、国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室